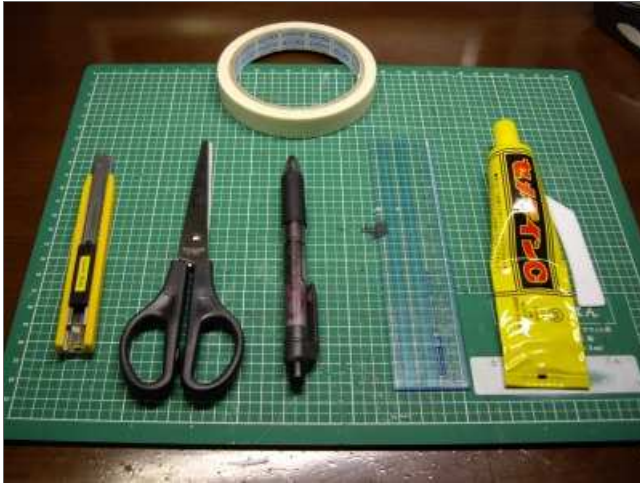


Static Wind

F-22A "どんがラプター" 製作・飛行説明書

組み立て説明

下準備(全機種共通)



まず必要な道具。
左からカッター、はさみ、テープ、インクの切れたボールペン、ものさし、セメダインC、ヘラです。

飛ばさない場合はセメダインCの代わりに工作用ボンド等が
使えますが、紙が歪むので木工用ボンドは非推奨です。で
きるだけ溶剤系の接着剤を用意してください。



紙はELECOTのペーパークラフト専用紙を使いました。
つやなし厚手のものが向いています。
ELECOT ペーパークラフト専用紙 EJK-HC2WN

秤量160g/m²前後のケント紙でも代用できます。

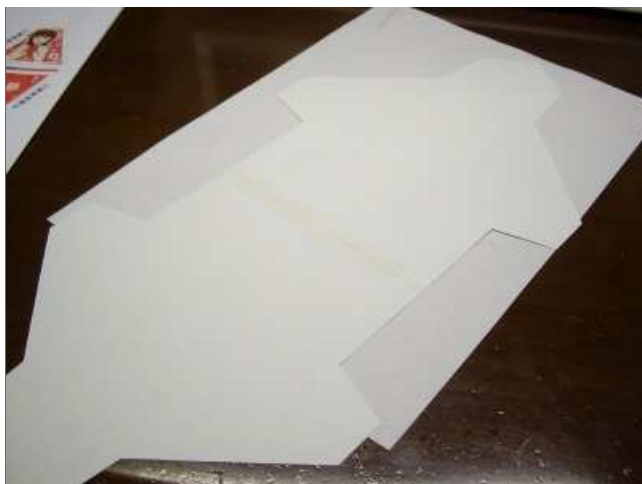


ボールペンで展開図に折り目をつけておきます。
インク切れのものがみつからない場合はキリ等の尖ったも
ので代用。

主翼貼り合わせ



青線にそって主翼を切り抜きます。



貼り合わせ時にずれないようにテープでつながります。



大まかにセメダインを置いて



厚めにヘラで伸ばします。



ずれないように貼り合わせます。

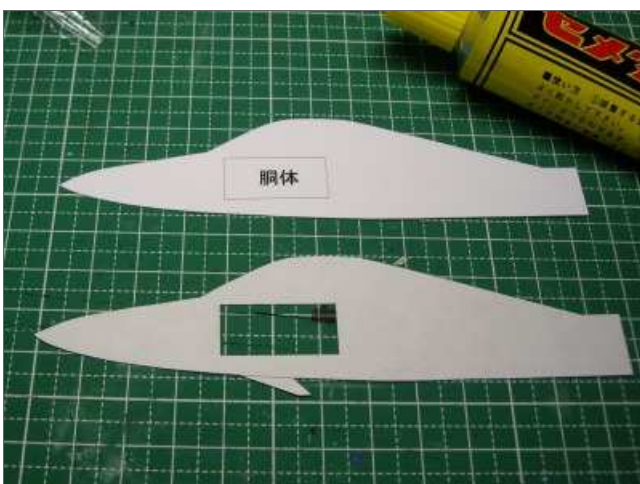


紙を一枚のせ、その上からしっかり擦って固定します。

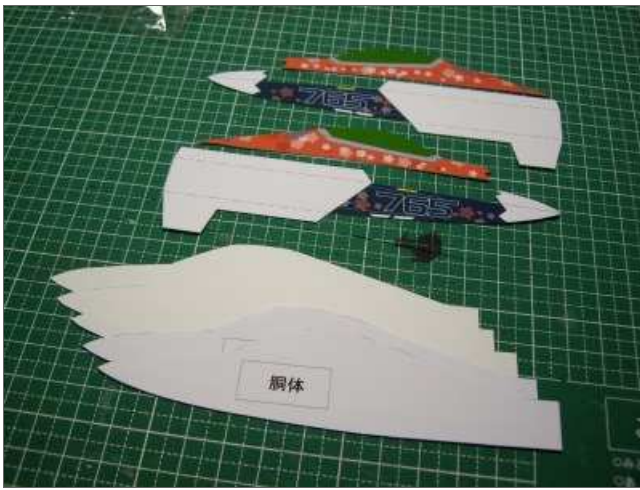


平らなものに挟み、重しをのせて一晩ほど放置。
時々取り出してゆがみをとります。

胴体貼り合わせ



胴体パーツは、ディスプレイモデルか飛行モデルかで作り
分けます。
ディスプレイは上、飛行モデルは下のようになりスペースと
フックを切り出しておきます。



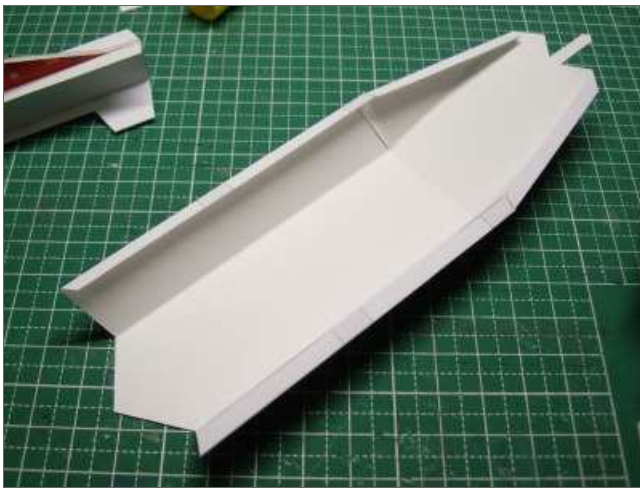
ディスプレイモデルはこのように全て接着しておきます。



飛行モデルは、後から重りを入れるため片側を開けておきます。

後部胴体貼り合わせ

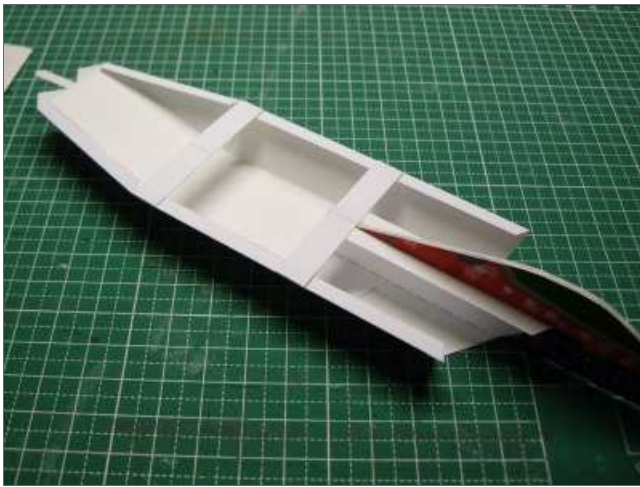




折り線にそって舟型に組みます。



胴体を接着しますが、のりしろの両端を胴体底面の角に合わせて中心が出るようになっています。



ブリッジで2箇所を止めます。
が、このパーツは後の接着をしやすいするためのものなので、ペーパークラフトに慣れてる人は省略してもかまいません。

垂直尾翼貼り合わせ



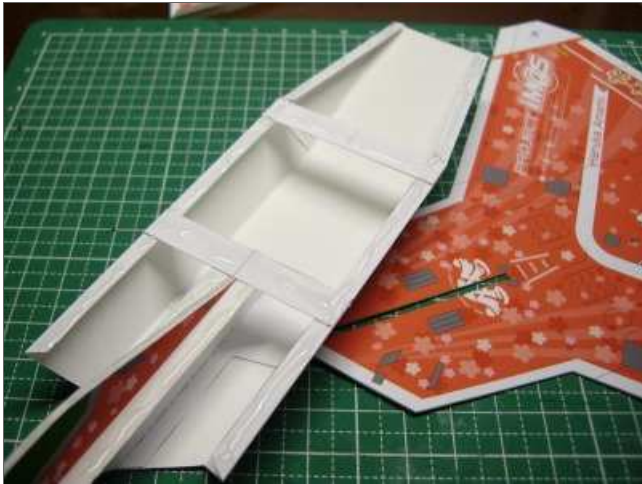
形が同じなので左右を間違わないように注意。



主翼接着

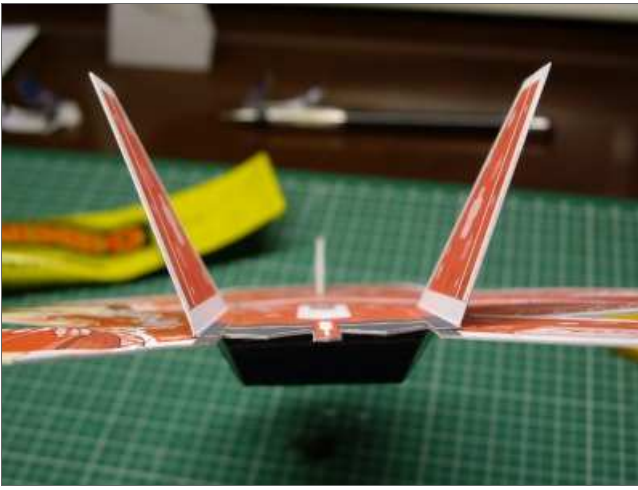


一晩おいた後、ドライヤーでゆがみを取りながら完全に乾燥させておきます。そして余白をカット。



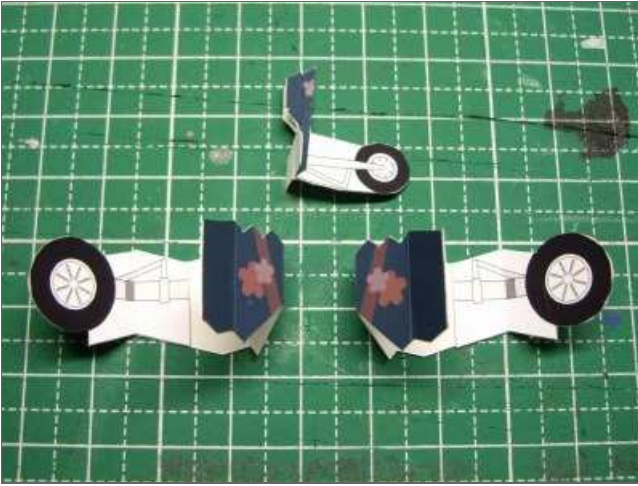
接着しにくい部分なので、多目にセメダインを盛っておきます。





実機に合わせてこのくらいの角度で垂直尾翼を接着。

ランディングギア



壊れやすいのでディスプレイモデル限定です。
前輪の2段折りが細かいですが、カッターで切れ込みを入れるなどしてこの形に組みます。



スタンドも組み立て。



写真のこの位置に



合わせるようにしてギアを接着します。



前輪も接着。

重り



飛行モデル限定。
ペーパークリップを伸ばして22mmに切ったものを10数本用意して、



機首の穴に入るだけ詰めます。



動かないようセメダインを塗って最後のパーツを接着。

完成



飛行モデル



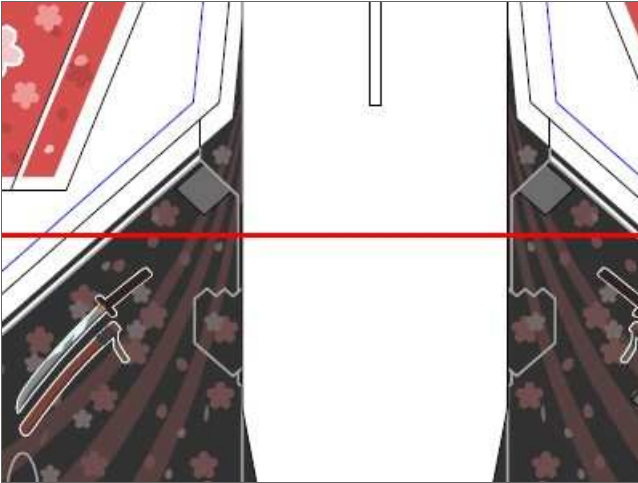
ディスプレイモデル

…とこのように組みあがります。



印刷面保護のためにクリアーを吹いておきましょう。

重心位置

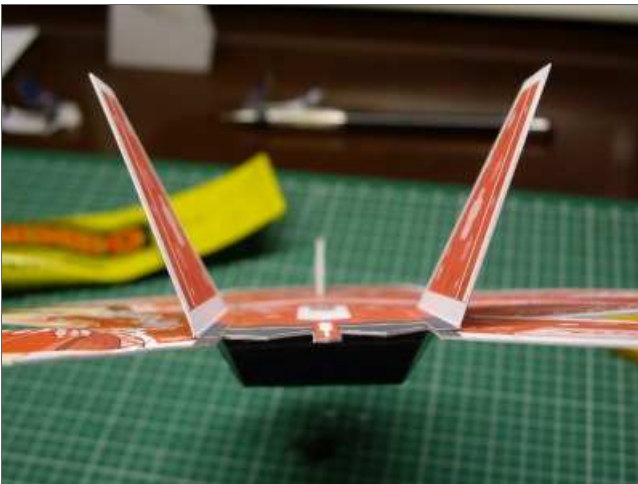


前後の重心位置は図の赤線に合わせます。



製作段階で重りを入れましたが、足りない(後ろにずれる)場合は写真の予備バラストを機首に貼り重ねて調整します。

翼

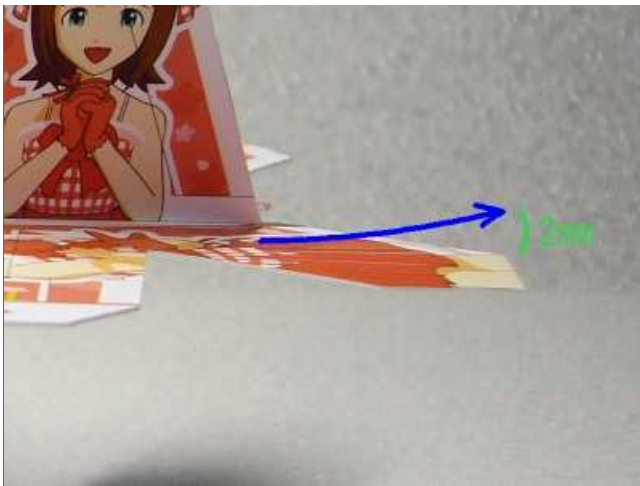


前後から機体を見て、主翼・尾翼がそれぞれ一直線に見えるようにゆがみ・ねじれを修正します。



主翼にキャンバーという湾曲をつけます。
主翼の前端と後端を2mmほどゆるやかに下へ曲げればok。

ダッチロール気味なほどロール復元性が高いので上反角は不要です。

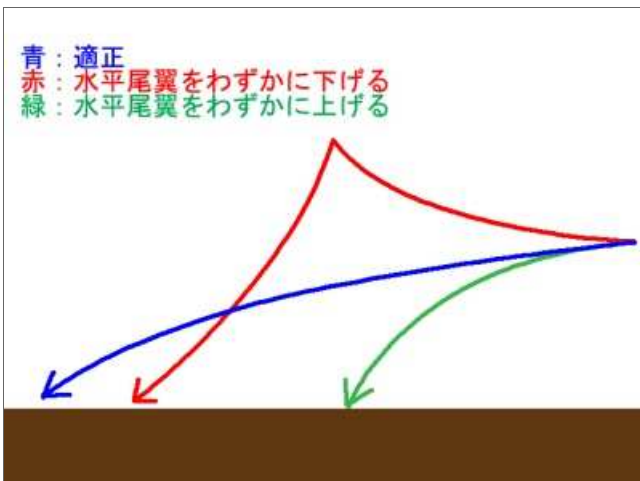


水平尾翼の後端は2mmほど跳ね上げます。
この時左側を少し大きめに上げておきます。

飛行



紙飛行機用ゴムカタパルトがあれば最適ですが、なければ輪ゴムを5本つないでも代用できます。



風に向かって軽めに飛ばし、水平尾翼の後端を調整します。
青のコースでゆるく左にそれていくのがベストです。



俯角 15° 、風に対して左に向き、風のくる方に機体を 45° ほど傾けて射出するのがいい感じです。

機体が重く抵抗もあるので失速には弱いです。左右のバランスにもシビアなので、どちらかに傾いていって墜落する場合は主翼のキャンバーが左右均等になっているかよく確認してください。

飛距離を伸ばしたい場合、主翼や尾翼の貼り合わせ部分を部分的に片面一枚に減らして軽量化したり、後部胴体の舟型に閉じている部分を省略して気流が通るようにすれば幾らか改善します。

機首が尖っているので、人のいる所で飛ばす場合は必ずスポンジやゴム等で保護してください。